

【おやつ】とは「御八つ」と書きます。おやつ
の「やつ」は、午後二時から四時までをさす
江戸時代の言葉「八つ」が語源と言われてい
ます。江戸時代中期頃までは一日二食だっ
たため、「八つ刻（やつどき）に小昼（こび
る）」といって間食をしたことから、この時間
の間食を意味するようになり、やがて他の時
間でも、間食は「おやつ」と呼ばれるようにな
りました。また、京都の本願寺では、二時頃

に修行の合図として太鼓をたたいていたこと
から、敬語の「お」がつき「お八つの太鼓」と
呼ばれていたため、間食の「おやつ」にも
「お」がつけられたと言われていいます。

【OTTO・オット】はおやつの「八つ」をイタリ
ア語の数字の「8」を意味します。量産文明
と言われる現代文明は欧米民族が発展させ
てきました。したがって言葉の語源（起源

語）は公用語（欧・英・ギリシャ・ラテン語）
として欧米に非常に多く取り入れられていま
す。国際的にも日本の「おやつ」を知って頂
きたいと思い、これらの起源語なら欧米にお
いて、理解されやすく、記憶されやすく、また
なじみやすい言葉です。

おやつ「八つ」を時計のように八つの●を
配し、人と人のつながりや絆を表します。

